

平成27年度 淀川管内水害に強い地域づくり協議会 大阪府域首長会議（トップセミナー）の開催

～洪水時の情報提供や今後の防災対応への取組について首長と意見交換～

～ 淀川河川事務所 ～

先般の平成27年9月関東・東北豪雨により、各地において浸水被害等が発生し、特に鬼怒川の堤防が決壊した茨城県常総市では、約1万1千棟が浸水するなど甚大な被害が生じました。

この水害を受け、「淀川管内水害に強い地域づくり協議会 大阪府域首長会議（トップセミナー）」を開催し、淀川水系想定浸水区域内の大阪府域内の市町の首長と、洪水時の情報提供や避難判断など、今後の防災対応への取組について意見交換を行いました。

概要

対象河川：淀川水系淀川

- 開催日時：平成27年11月11日（水）15:00～16:30
- 開催場所：ハートンホテル心斎橋 別館2階 松風
- 参加機関：大阪府域の沿川12市町
大阪府都市整備部及び政策企画部、各土木事務所、
大阪管区气象台、国土地理院、水資源機構、
近畿地方整備局河川部、淀川ダム統合管理事務所、
淀川河川事務所



首長が避難勧告発令の目安となる「はん濫危険水位」など河川管理者が出す情報の活用を確認したうえで、淀川水系の河川が危険となる状況を想定し、避難に視点をのこした「タイムライン」を来年の出水期までにまとめていくために意見交換を行いました。

【確認内容】

- ① 関東・東北豪雨に係る被害及び復旧状況
- ② 淀川水系（直轄大阪府域）の「三川合流域」、「淀川下流域」のそれぞれの水位上昇について特徴と課題を提示
- ③ 自治体が、適切なタイミングと対象範囲に避難勧告等が発令できるよう、自治体ごとに避難勧告等の発令の目安となる水位を提供することを提案

【その他の報告内容】

- ・ハザードマップポータルサイト、浸水ナビについて（国土地理院）
- ・平成25年台風18号における淀川水系ダム群の操作について（淀川ダム統合管理事務所）
- ・洪水における防災情報について（大阪府）



【首長からの主なご意見】

- ・避難勧告等の発令判断にあたり広域的な判断が難しいため、本会議は非常に有意義である。今後も定期的な開催を望む。
- ・淀川が決壊すると壊滅的な被害となるため、ダムや洗堰の適切な操作による災害防止が重要。
- ・堤防の高さや構造上の問題がある地点の改修工事を進めてほしい。

報道

以下の報道機関に記事等を取り上げられました。



- NHK大阪
11月12日(木)
「NHKおはよう日本」
- 日刊建設工業新聞
11月13日(金)

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 調査課
〒573-1191
大阪府枚方市新町2-2-10
TEL 072-843-2861

